

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の背景

わが国の合計特殊出生率（1人の女性が生涯に産むとされる子どもの数）は、平成17年には1.26まで落ち込みました。その後ゆるやかに上昇し、平成27年には1.45まで持ち直したものの、平成30年の出生数は91万8397人で過去最低を更新し、合計特殊出生率は1.42で、低い水準で推移しています。

本市の平成20年の合計特殊出生率は1.14で、県内で一番低い水準でした。平成29年には、1.46まで回復し、国の1.43を上回りましたが、依然として、広島県の水準を下回っている状況が続いています。

国は、少子化問題への対策として、平成24年度に「子ども・子育て関連3法」を制定し、「幼児期の教育・保育の一体的な提供」「保育の量的拡充」「家庭における養育支援等」を総合的に推進していくことを目的とした「子ども・子育て支援制度」が、平成27年4月からスタートしました。

本市においても、計画期間を平成27年度から平成31年度とする「廿日市市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。計画に基づき、女性の社会進出に伴う0～2歳児の保育ニーズの増大、子育て不安を抱える保護者の増加等に対応すべく、保育施設や留守家庭児童会（放課後児童クラブ）の整備、ネウボラはつかいちや地域子育て支援センターの新設等を行ってきました。一方で、相談件数が増加する児童虐待や、子どもの貧困問題等、子どもや子育て世帯を取り巻く新たな課題が生じています。

第2期廿日市市子ども・子育て支援事業計画は、前計画の進捗状況や多様な子育てニーズ、新たな子育て課題等を踏まえ、子どもや子育て家庭に寄り添い、安心して子どもを産み育てられる環境を整備することを目的に策定します。

2 計画の位置づけ等

(1) 計画の位置づけ

本計画は、子ども・子育て支援法第61条第1項に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」として策定するもので、教育・保育や地域の子ども・子育て支援事業の量を確保する上で必要な施策を展開していくため、策定するものです。

次世代育成支援対策推進法第8条の「市町村行動計画」、また、貧困の状況にある子どもに対する教育、生活、保護者の就労、経済的支援について、必要な施策を展開していくため、子どもの貧困対策の推進に関する法律第9条の「市町村計画」を包含するものです。

さらに、本市の最上位計画である「第6次廿日市市総合計画」の部門別計画とし、関係する各分野の個別計画（第2期廿日市市地域福祉計画・廿日市市障がい児福祉計画・廿日市市食育推進計画等）と整合性をとるとともに、策定中の各分野の個別計画についても可能な限り連携を図りました。

計画の推進にあたっては、各計画との連携を十分に考慮し、新たな課題や環境の変化にも対応できるよう、柔軟に計画を進めるものとします。

(2) 計画の対象・期間

本計画の対象は、妊娠期から乳幼児期を中心に、おおむね18歳までの子ども・青少年とその家庭とします。ただし、施策の内容により、必要に応じて対象の年齢に幅を持たせるなど、柔軟な対応を行います。また、子育てを地域全体で支えていく必要性があることから、地域、関係団体、事業者等も対象とします。

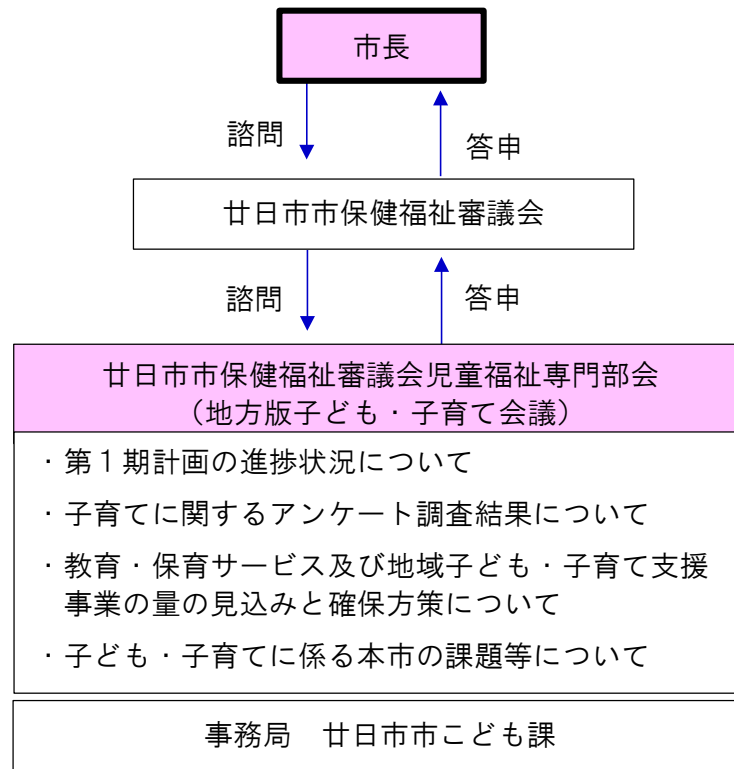
本計画の期間は、子ども・子育て支援法に基づいて定められた基本指針に即して、令和2年度から令和6年度までの5年間とします。

平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度 令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
第1期廿日市市子ども・子育て支援事業計画									
				見直し 策 定	第2期廿日市市子ども・子育て支援事業計画				

(3) 策定体制

「廿日市市子ども・子育て支援事業計画」の策定にあたっては、「廿日市市保健福祉審議会児童福祉専門部会」を設置し、子ども・子育て支援法第77条第1項に規定する事項（子ども・子育て支援事業計画の内容や保育園等の施設の定員設定のあり方等）について調査・審議しました。

■策定体制図



(4) ニーズ調査の実施

子ども・子育て支援事業計画を策定するにあたって、市民の子育てに関する生活実態や意見・要望を確実に把握するため、アンケート調査を実施しました。

■調査実施状況

区分	就学前児童用調査	小学校児童用調査
調査対象者	平成31年1月1日現在、廿日市市に住んでいる就学前の児童を持つ保護者	平成31年1月1日現在、廿日市市に住んでいる小学生の児童を持つ保護者
調査方法	郵送による配布回収	
調査期間	平成31年1月9日～平成31年1月25日まで	
回収状況	配布数	1,800票
	有効回収数	921票
	有効回収率	51.2%
	配布数	1,800票
	有効回収数	875票
	有効回収率	48.6%

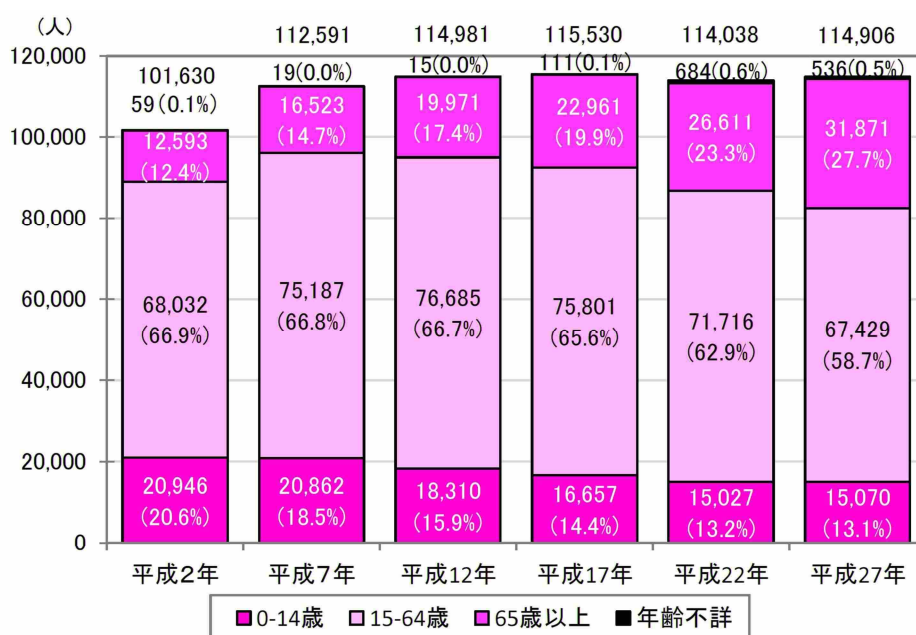
3 廿日市市の子ども・子育てを取り巻く状況

(1) 人口・世帯の動向

① 人口・世帯数の推移

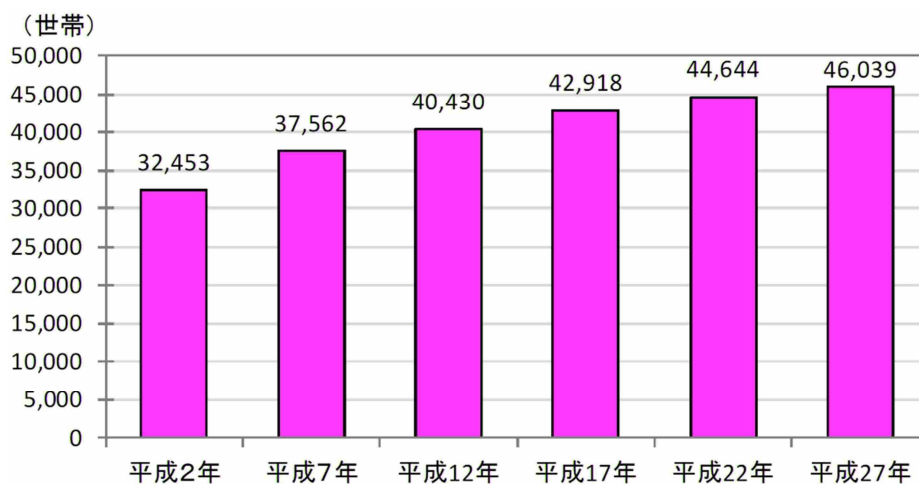
平成14年度に、旧佐伯町・旧吉和村と、平成17年度に、旧大野町・旧宮島町との合併を経て、年少人口（0～14歳）割合は、平成17年の14.4%から、平成27年の13.1%まで減少しているのに対し、高齢者人口（65歳以上）割合は、平成17年の19.9%から平成27年の27.7%まで増加し、少子化と高齢化が進行しています。また、人口は横ばいですが、核家族化や単身世帯数の増加により、世帯数は年々増加している状況です。

■総人口・年齢区分別人口の推移



資料: 国勢調査

■世帯数の推移



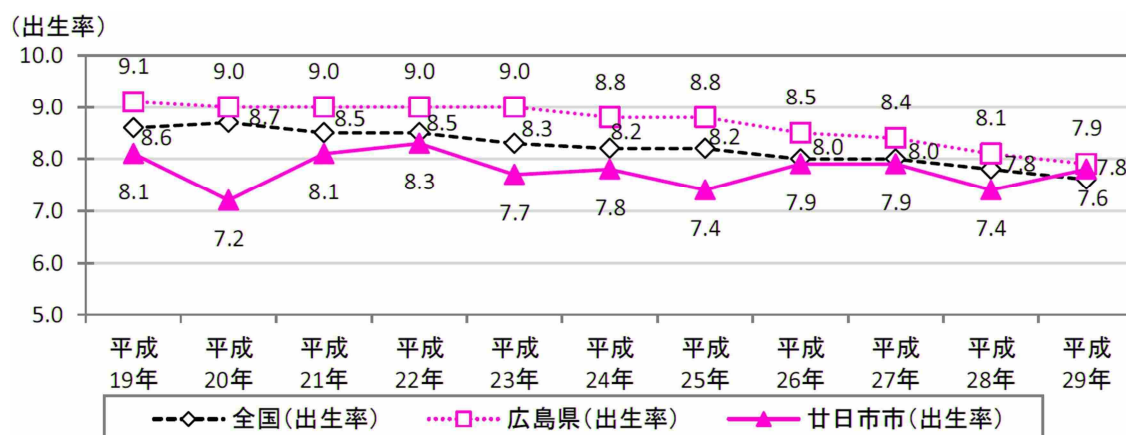
資料: 国勢調査

② 出生率の推移

本市の人口千人あたりの出生率は8.0前後で推移しており、全国及び広島県の出生率と比較すると低い傾向にありましたが、平成29年では全国及び広島県と同程度の水準となっています。

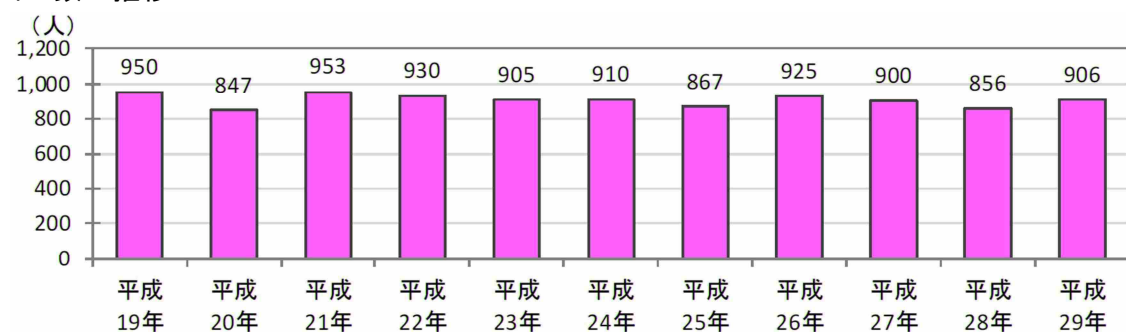
また、合計特殊出生率は、近年増加傾向で推移しており、平成29年では1.46となっています。全国及び広島県と比較すると低い傾向にありましたが、平成29年では全国を上回っています。

■出生率の推移（人口千人に対して）



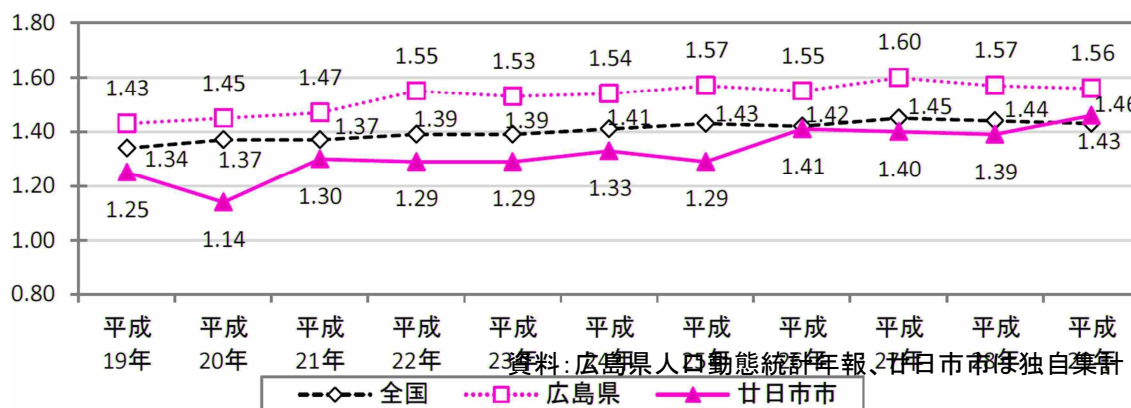
資料：広島県人口動態総覧

■出生数の推移



資料：広島県人口動態総覧

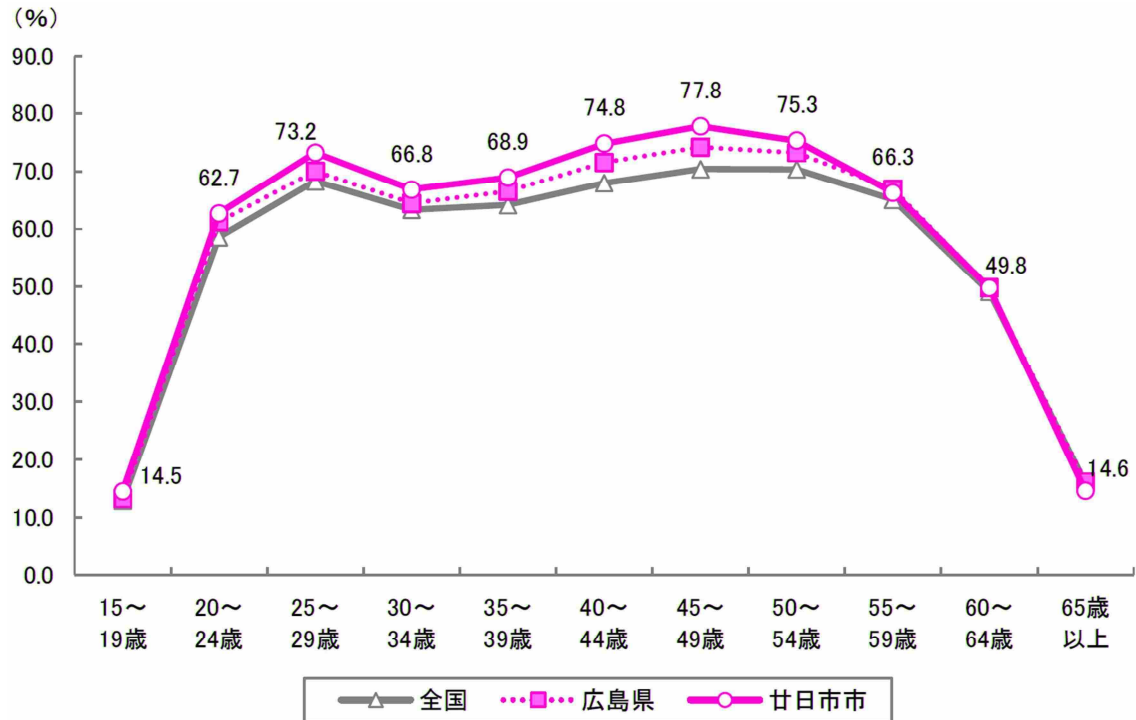
■合計特殊出生率の推移



③ 女性の就業率の推移

女性の年齢階層別の就業率をみると、30歳代で就業率が低くなるM字曲線を描いています。全国及び広島県の女性の就業率と比較すると、15～54歳までの各年齢階層で上回っています。

■年齢階層別（5歳区切り）の就業率



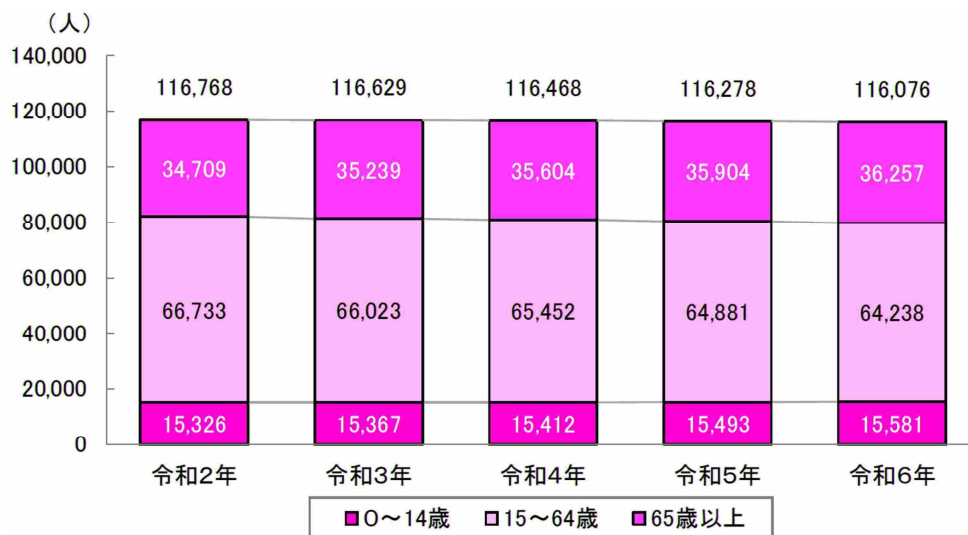
	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
廿日市市	14.5	62.7	73.2	66.8	68.9	74.8	77.8	75.3	66.3	49.8	14.6
広島県	13.2	61.2	70.0	64.4	66.5	71.5	74.2	73.2	66.9	49.8	16.2
全国	12.9	58.6	68.2	63.3	64.1	67.9	70.3	70.3	65.0	49.1	15.9

資料：平成27年国勢調査

④ 推計人口

計画期間中の人口は、微減傾向と推計されます。0～14歳の年少人口については、近年、子育て世代等の転入超過が続いていることから、やや増加するとみられます。

■人口の推計



■児童数の推計

※住民基本台帳をもとにコーホート変化率法により推計

(人)	平成30年 4月1日現在	平成31年 4月1日現在	推計児童数				
			令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
0歳	914	800	872	873	875	871	876
1歳	939	969	866	943	944	945	941
2歳	971	947	1,008	900	979	980	981
3歳	1,036	986	977	1,038	927	1,008	1,008
4歳	1,009	1,064	1,003	993	1,056	943	1,026
5歳	1,060	1,028	1,079	1,017	1,008	1,072	957
就学前児童計	5,929	5,794	5,805	5,764	5,789	5,819	5,789
6歳	1,023	1,077	1,041	1,093	1,030	1,021	1,087
7歳	1,057	1,039	1,093	1,056	1,109	1,045	1,035
8歳	1,079	1,076	1,048	1,102	1,066	1,119	1,055
9歳	1,002	1,080	1,085	1,056	1,111	1,074	1,128
10歳	1,019	1,011	1,089	1,093	1,064	1,120	1,082
11歳	1,051	1,016	1,013	1,090	1,095	1,066	1,122
小学生児童計	6,231	6,299	6,369	6,490	6,475	6,445	6,509
12～18歳	7,515	7,505	7,385	7,319	7,336	7,382	7,424

資料：住民基本台帳(平成30年、平成31年)

※0歳人数の推計は、平成29年広島県人口動態統計に掲載の「母親の年代別出生数」より、廿日市市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンを踏まえて算出

(2) 子ども・子育てにかかる支援事業一覧(令和2年4月より)

① 認定こども園・保育園・地域型保育事業(認可保育施設)

地域	施設名	施設 類型	所在地	対象月齢	開園時間	延長保育時間	一時 保育
廿日市地域	佐方保育園	公保	城内3-5-16	1歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	平良保育園	公保	平良1-21-8	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	原保育園	公保	原967	1歳～5歳	7:30～18:30	-	○
	宮内保育園	公保	宮内1508-2	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	宮園保育園	公保	宮園1-1	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	地御前保育園	公保	地御前4-4-30	0歳～5歳	7:30～18:30	-	
	阿品台東保育園	公保	阿品台東3-37	1歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	阿品台西保育園	公保	阿品台西6-63	0歳～5歳	7:30～18:30	-	
	公私連携 廿日市保育園	連保	廿日市2-1-6	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	○
	あい保育園廿日市	私保	下平良1-3-36 有信廿日市ビル5階	0歳～2歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	あい保育園廿日市中央	私保	下平良1-7-7	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	あい保育園住吉	私保	住吉1-2-38	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	あい保育園串戸	私保	串戸5-2-6	0歳～5歳	7:30～19:30	18:30～19:30	
	にこにこの森保育園	私保	新宮1-3-33	0歳～5歳	7:30～19:30	18:30～19:30	
	廿日市いちご保育園佐方	私保	城内2-7-2-102	0歳～5歳	7:30～19:30	18:30～19:30	
	アトリエREILEY こども舎さがた	私保	佐方639-1	0歳～5歳	7:00～19:00	7:00～7:30 18:30～19:00	○
	ふじ保育園	私保	阿品4-24-24	1歳、2歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	みどりの森ようこう保育園	私保	陽光台5-1	0歳～5歳	7:15～19:30	7:15～7:30 18:30～19:30	
	さつき保育園	私保	平良山手11-47	0歳～2歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	さつき第2保育園	私保	城内2-13-25	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	○
佐伯・吉和地域	廿日市こども園	私こ	桜尾本町2-19-5	0歳～5歳	7:30～19:30	18:30～19:30	○
	保育所ちびっこいろは園	私小	宮内4241-2	0歳～2歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	おおぞら保育園廿日市	私事	宮内311-1	0歳～2歳	7:30～18:30	-	○
	友和保育園	公保	友田30-1	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	○
大野地域	津田保育園	公保	津田4160-1	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	○
	吉和保育園	公保	吉和1513	0歳～5歳	7:30～18:30	-	○
	友和こども園	私こ	友田24-513	1歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	深江保育園	公保	深江2-11-25	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	池田保育園	公保	物見西3-7-10	0歳～5歳	7:30～18:30	-	○
	いもせ保育園	公保	大野原2-10-3	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	
	梅原保育園	公保	梅原2-5-12	0歳～5歳	7:30～18:30	-	○
	鳴川保育園	公保	大野1664-6	0歳～5歳	7:30～18:30	-	
	廿日市くじら保育園	私保	大野3240-1	0歳～5歳	7:00～19:00	18:00～19:00	
	アトリエREILEY こども舎おおの	私保	沖塩屋3-1-11	0歳～5歳	7:00～19:00	7:00～7:30 18:30～19:00	○
大野地域	つきのひかり国際保育園	私保	大野625-1	0歳～5歳	7:00～19:00	7:00～7:30 18:30～19:00	○
	公私連携 丸石保育園	連保	丸石2-16-23	0歳～5歳	7:30～19:00	18:30～19:00	○

※公保:公立保育園 連保:公私連携型保育所 私保:私立保育園 私こ:私立認定こども園 私小:私立小規模保育園
私事:私立事業所内保育園

② 幼稚園

地域	幼稚園名	施設 類型	所在地	預かり 保育
宮島地域	宮島幼稚園	公幼	宮島町779番地5	○
廿日市地域	ほうりん廿日市幼稚園	私幼	佐方三丁目2番28号	○
	山陽女子短期大学付属幼稚園	私幼	佐方本町1番1号	○
	廿日市聖母マリア幼稚園	私幼	可愛11番8号	○
	つくし幼稚園	私幼	阿品台二丁目15番1号	○
	ふじ幼稚園	私幼	阿品四丁目24番24号	○
	くすのき幼稚園	私幼	四季が丘二丁目15番地1	○
大野地域	かえで幼稚園	私幼	対巖山二丁目9番13号	

※公幼:公立幼稚園 私幼:私学助成を受ける私立幼稚園

③ 子育て相談・支援サービス機関

ア 家庭児童相談（家庭での児童養育・児童虐待親子関係など児童に関する相談）

・相談日時 月～金曜日（祝・休日を除く）午前8時30分～午後5時15分

・相談場所 子育て応援室支援グループ（市役所内）

イ 児童家庭支援センター コスモス（子どもと家庭に関する総合的な相談・援助）

・相談日時 月～土曜日（祝・休日を除く）午前9時～午後5時

・所在地 丸石一丁目1番12号

ウ 電話育児相談（各公立保育園での電話相談）

・相談日時 毎週月～金曜日（祝・休日を除く）午後1時～午後5時

エ 子育てに関する相談（育児に関する相談や子育て情報の提供）

◆廿日市子育て世代包括支援センター（ネウボラ）
 ・相談日時 月～金曜日（祝・休日を除く）午前8時30分～午後5時15分
 ・相談場所 ネウボラはつかいち（市役所内）・ネウボラさいき（佐伯支所内）
 ネウボラおおの（大野支所内）

◆廿日市子育て支援センター
 ・相談日時 月～金曜日 午前9時～午後5時
 土・日曜日・祝日 午前10時～午後5時
 ・相談場所 子育てのひろば プレイルーム（山崎本社みんなのあいプラザ内）

◆大野子育て支援センター
 ・相談日時 月～金曜日（祝・休日を除く）午前9時～午後3時
 ・相談場所 深江保育園内

◆佐伯子育て支援センター
 ・相談日時 月～土曜日（祝・休日を除く）午前10時～午後4時
 ・相談場所 津田児童館内

オ こどもの発達支援

◆広島西こども発達支援センター くれよん ・所在地 四季が丘十一丁目23番地

◆児童発達支援センター おひさま ・所在地 陽光台三丁目1番地3

④ 病児保育

- ◆病児保育室ゆう
《平田内科小児科医院》
- ・開所日時 月～土曜日(祝・休日を除く)
午前8時30分～午後6時
 - ・所在地 阿品台三丁目1番1-209号

⑤ 子どもの保健サービス

育児相談・乳幼児健康診査・離乳食講座等を行っています。

担当名	所在地
廿日市市役所 子育て応援室 保健グループ	下平良一丁目11番1号
佐伯支所 市民福祉グループ	津田1989番地
吉和支所 市民福祉グループ	吉和3425番地1
大野支所 健康福祉グループ	大野一丁目1番1号
宮島支所 市民福祉グループ	宮島町1165番地6

⑥ 託児所等(認可外保育施設)

託児所名	所在地	一時保育
託児所なかよしルーム	下平良一丁目1番5号	○
にこにこキッズくしど保育園	串戸三丁目1番6号	○
エルベ幼稚園	宮園三丁目1番地1	
にこにこキッズみやじま保育園	宮島町960番地2	○
ひだまり保育園	宮内工業団地1番地9	○
託児保育にこにこキッズ	串戸二丁目3番15号	○

⑦ ファミリー・サポート・センター

育児・介護等の援助をしてほしい人(依頼会員)と援助をしたい人(提供会員)が、お互い会員になって助け合うシステムです。

・連絡場所(廿日市市社会福祉協議会)

本部(新宮一丁目13番1号)	佐伯事務所(津田4109番地)
吉和事務所(吉和1771番地1)	大野事務所(大野一丁目1番1号)
宮島事務所(宮島町960番地2)	

⑧ 子育て支援短期利用事業

家庭で、緊急・一時的に児童の養育が困難かつ他に支援を受けることができなくなったときに児童養護施設などでお預かりします。

・利用時間等

	ショートステイ	トワイライトステイ
対象児童	18歳未満の児童	小学生又はこれに準ずる児童
利用理由	疾病・出産・看護・事故・災害・冠婚葬祭・転勤・出張・学校等の公的行事への参加など	・通常の業務が夜間におよぶ ・恒常的に夜間にわたる残業 ・恒常的に夜間におよぶ通院 など
利用時間(期間)	原則7日以内	原則午後10時まで
利用施設	光の園摂理の家 所在地 廿日市市地御前1895番地 丸石こどもの家 所在地 廿日市市丸石一丁目1番12号 いもせハイツ 所在地 廿日市市梅原二丁目14番39号	

⑨ 児童館

児童館名	所在地	開館時間
平良児童館	陽光台一丁目4番地1	月～土曜日(祝・休日を除く) 午前10時～午後5時
友和児童館	友田30番地1	
津田児童館	津田4109番地	
大野東児童館	大野840番地6	
大野西児童館	大野原四丁目3番11号	

留守家庭児童会の整備・充実

留守家庭児童会の実施会場として、施設の充実を目指しています。

施設の利用状況や保育園など、地域内の他の子育て支援施設の配置状況を踏まえ、配置及び規模の適正化を図りながら、施設の改修、設置などの事業を進めています。



大野東小 児童会専用施設

(3) 放課後の居場所づくりに関する事業

① 留守家庭児童会

児童会名	所在地
廿日市児童会	本町2番13号(廿日市小学校内)
平良児童会	陽光台一丁目4番地1(平良小学校内)
原児童会	原433番地(原小学校内)
宮内児童会	宮内1518番地(宮内小学校内)
地御前児童会	地御前四丁目3番1号(地御前小学校内)
佐方児童会	佐方10番地1(佐方小学校内)
阿品台東児童会	阿品台東2番1号(阿品台東小学校内)
阿品台西児童会	阿品台西1番1号(阿品台西小学校内)
金剛寺児童会	地御前二丁目22番1号(金剛寺小学校内)
宮園児童会	宮園一丁目1番地2(宮園小学校内)
四季が丘児童会	四季が丘八丁目1番地1(四季が丘小学校内)
友和児童会	友田30番地1(友和小学校内)
津田児童会	津田2740番地(津田小学校内)
大野東児童会	大野840番地6(大野東小学校内)
大野西児童会	大野原四丁目3番11号(大野学園内)
宮島児童会	宮島町779番地2(宮島学園内)
吉和児童会	吉和1555番地1(吉和学園内)

② 放課後子ども教室（設置順）

名称	放課後子ども教室名	活動場所	開催日	活動時間
大野学園 地域学校協働本部	放課後はつかいち 寺子屋塾	大野学園内 うぐいすルーム	毎週 水・金	授業終了後～ 17:00
大野東中学校区 地域学校協働本部	放課後はつかいち 寺子屋塾	大野東小 図書室	毎週 火・木	授業終了後～ 17:00
阿品台東小学校・ 地域学校協働本部	木曜塾	阿品台市民セン ター	毎週 木	14:45～16:30
原小学校区 地域学校協働本部	木曜教室	原小学校内 伝承館	毎週 木	15:30～16:30
友和小学校区 地域学校協働本部	ほっこりクラブ	友和小学校内 視聴覚室等	毎週 木	15:30～16:30
地御前小学校区 地域学校協働本部	JJ	図書館	隔週 木	15:30～16:30
佐方小学校区 地域学校協働本部	放課後子ども教室	佐方市民センター	毎週 木	15:30～16:30
金剛寺小学校区 地域学校協働本部	放課後子ども教室	串戸市民センター	夏期休暇	土曜日(不定 期)
津田小学校区 地域学校協働本部	放課後子ども教室	津田小学校内	隔週 木	授業終了後～ 16:30

(4) 前計画の検証と評価

「廿日市子ども・子育て支援事業計画」(前計画)で定めた行動指標の進捗状況は次のとおりです。

① 「基本目標1 教育・保育サービスを充実させる」の進捗・評価

新たな宅地造成や子育て世代の転入等により、利用希望者が増加し続けています。保育園等の定員については、計画に基づき保育施設を整備するなど量的拡大を進めてきたものの、平成31年4月に8年ぶりに待機児童が発生したことを踏まえ、今後もサービス提供の適正化を図る必要があります。

また、公立保育園の耐震化は、公私連携による建て替え等により進んできたものの、他の施設の老朽化などが進行しており、バリアフリー化を含めて、喫緊の課題となっています。

指標		H25 年度	H31 年度 目標値	第1期計画の進捗						
				H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度 見込	達成率 見込
(1) 教育・保育量を充足させる										
0歳～2歳の 保育園 定員	廿日市・七尾・四季が丘中学校区	369人	679人	369人	466人	577人	607人	646人	646人	95.1%
	野坂・阿品台中学校区	223人	348人	223人	235人	235人	235人	247人	247人	70.9%
	佐伯中学校区	117人	117人	117人	117人	117人	117人	117人	117人	100.0%
	吉和中学校区	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	9人	100.0%
	大野東・大野・宮島中学校区	229人	384人	229人	229人	229人	229人	298人	388人	101.0%
	合計	947人	1,537人	947人	1,056人	1,167人	1,197人	1,317人	1,407人	91.5%
利用者支援事業の実施箇所数		0か所	1か所	0か所	0か所	0か所	1か所	1か所	1か所	100.0%
(2) 幼保小が連携し、教育・保育の質を向上させる										
公立保育園の第三者評価制度実施率		未実施	100%	未実施	未実施	10.0%	21.0%	42.1%	63.0%	63.0%
幼保小の連携による接続カリキュラムの策定		未策定	策定	未策定	未策定	未策定	未策定	未策定	17小学校区策定	100.0%
(3) 安全・安心な教育・保育環境をつくる										
公立保育園の耐震化工事実施園数		3園	9園	3園	3園	3園	3園	4園	5園	55.5%
小・中学校の耐震化工事進捗率		73.8%	100%	85.0%	96.5%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
保育園ごとの防災マニュアルの策定		未策定	全園	0園	0園	0園	19園	19園	17園	100.0%

② 「基本目標2 子どもの育ちと子育て家庭を応援する」の進捗・評価

母子の健康については、依然として健診を受診していない子どもがあり、引き続き受診勧奨に努める必要があります。

また、朝食を食べない児童がいることから、これらの子どもについて、世帯の状況に応じた支援に繋げていく体制を検討する必要があります。

仕事と子育ての両立では、延長保育のニーズへの対応が図られた一方で、休日保育など対応が進んでいないものもあります。育児休業制度の整備は進んできてはいるものの、職場での制度利用の促進が課題となっています。

留守家庭児童会については、利用時間の拡大や高学年の利用開始などと相まって、女性の就業率の増加により、予想以上のニーズの伸びがあります。今後もこの傾向は続くと思われることから、実施場所の確保や地域・民間と協働した運営体制の確保が必要となっています。また、子育て世帯のライフスタイルに応じた、子どもの居場所の多様化が求められています。

指標		H25 年度	H31 年度 目標値	第1期計画の進捗						R1年度 見込	達成率 見込
				H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度			
(1) 子どもと母親の健康づくりを支える											
妊婦健康診査受診者数		11,142人回	11,536人回	10,910人回	10,852人回	10,439人回	10,797人回	9,482人回	9,781人回	84.7%	
乳児家庭全戸訪問事業 実施件数		852件	824件	959件	878件	832件	881件	806件	831件	100.8%	
乳児家庭全戸訪問事業 実施割合		99.1%	100.0%	99.6%	99.8%	96.4%	99.8%	98.5%	99.6%	99.6%	
乳幼児健診 受診率(集 団検診)	4か月	94.4%	各95%	95.0%	94.0%	94.6%	97.8%	94.1%	96.1%	101.1%	
	1歳6か月	92.4%		93.2%	90.2%	95.9%	95.0%	95.6%	94.6%	99.6%	
	3歳6か月	89.2%		91.9%	92.0%	88.1%	97.2%	93.2%	93.0%	97.8%	
朝食を毎日 食べる子ど もの割合	1歳6か月	95.2%	各100%	93.3%	89.0%	90.3%	93.2%	97.2%	96.7%	96.7%	
	3歳	93.2%		94.3%	85.6%	96.4%	96.3%	97.0%	97.3%	97.3%	
	小学生	97.3%		97.5%	97.2%	95.8%	95.7%	94.7%	96.0%	96.0%	
	中学生	94.1%		96.1%	95.0%	95.3%	94.4%	94.3%	94.3%	94.3%	
(2) 身近に利用できるサービスを拡充させる											
子育て支援センターの 利用者数		1,584人/月	3,391人/月	1,673人/月	1,601人/月	1,963人/月	1,920人/月	1,704人/月	1,434人/月	42.2%	
子育て支援センターの 設置箇所数		2か所	4か所	2か所	2か所	3か所	3か所	2か所	3か所	75.0%	
幼稚園での預り保育の 利用者数		24,175人日	52,164人日	30,266人日	36,268人日	39,945人日	54,437人日	54,497人日	56,328人日	107.9%	
保育園での一時保育の 利用者数		5,580人日	16,323人日	5,176人日	5,291人日	4,278人日	4,654人日	5,130人日	3,500人日	21.4%	

指標		H25 年度	H31 年度 目標値	第1期計画の進捗						達成率 見込
				H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度 見込	
(3) 仕事と子育ての両立を支える										
延長保育の定員		250人	323人	250人	335人	355人	360人	380人	400人	123.8%
ファミリー・サポート・センターの利用者数		315人日	315人日	378人日	741人日	440人日	495人日	480人日	480人日	152.3%
子育て支援短期利用事業(ショートステイ・トワイライトステイ)の利用者数		31人日	31人日	50人日	16人日	33人日	26人日	34人日	31人日	100.0%
病児保育の利用者数		770人日	1,160人日	805人日	1,022人日	913人日	863人日	865人日	750人日	64.6%
延長保育の実施園数		12園	18園	11園	17園	20園	21園	25園	27園	150.0%
一時保育の実施園数		6園	12園	6園	7園	7園	8園	9園	13園	108.0%
休日保育の実施園数		0園	2園	0園	0園	0園	0園	0園	0園	0.0%
ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業数(一般事業主行動計画策定状況)		70社	82社	74社	77社	86社	88社	91社	98社	119.5%
(4) 豊かな心と生きる力を育む										
留守家庭児童会 の定員 ()は最大 登録児童数	廿日市 小学校	80 (131)人	132人	80 (123)人	123 (116)人	123 (164)人	120 (166)人	120 (168)人	120 (220)人	90.9%
	平良 小学校	80 (115)人	173人	80 (112)人	80 (93)人	80 (110)人	80 (126)人	80 (138)人	80 (169)人	46.2%
	原 小学校	40 (15)人	40人	40 (15)人	40 (8)人	40 (11)人	40 (10)人	40 (12)人	40 (18)人	100.0%
	宮内 小学校	80 (89)人	113人	80 (81)人	80 (94)人	80 (113)人	80 (112)人	80 (115)人	80 (150)人	70.8%
	地御前 小学校	40 (46)人	121人	40 (65)人	127 (71)人	127 (105)人	90 (104)人	90 (114)人	90 (157)人	74.4%
	佐方 小学校	80 (85)人	179人	80 (74)人	80 (78)人	80 (87)人	120 (104)人	120 (121)人	120 (159)人	67.0%
	阿品台東 小学校	60 (50)人	60人	60 (41)人	60 (45)人	60 (53)人	60 (67)人	60 (71)人	60 (76)人	100.0%
	阿品台西 小学校	80 (93)人	108人	80 (81)人	80 (84)人	80 (111)人	120 (118)人	120 (132)人	120 (155)人	111.1%
	金剛寺 小学校	40 (17)人	71人	40 (21)人	40 (23)人	40 (35)人	40 (45)人	40 (64)人	40 (81)人	56.3%
	宮園 小学校	60 (29)人	60人	60 (32)人	60 (45)人	60 (52)人	60 (64)人	60 (63)人	60 (73)人	100.0%
	四季が丘 小学校	100 (61)人	100人	100 (49)人	100 (44)人	100 (55)人	100 (62)人	100 (72)人	100 (97)人	100.0%
	友和 小学校	60 (46)人	60人	60 (55)人	60 (41)人	60 (46)人	60 (50)人	60 (58)人	60 (73)人	100.0%
	津田 小学校	60 (18)人	60人	60 (23)人	60 (25)人	60 (36)人	60 (35)人	60 (37)人	60 (33)人	100.0%
	吉和 小学校	— (13)人	13人	— (15)人	— (19)人	— ()人	— ()人	— ()人	20 (15)人	153.8%
	大野東 小学校	80 (111)人	268人	80 (113)人	102 (114)人	102 (158)人	100 (175)人	170 (192)人	170 (268)人	63.4%

指標		H25 年度	H31 年度 目標値	第1期計画の進捗						
				H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度 見込	達成率 見込
	大野西 小学校	80 (98)人	240人	80 (100)人	164 (123)人	164 (134)人	160 (137)人	160 (148)人	160 (189)人	66.7%
	宮島 小学校	60 (10)人	60人	60 (14)人	60 (15)人	60 (22)人	60 (21)人	60 (23)人	60 (29)人	100.0%
	合計	1,080 (1,053)人	1,858人	1,080 (999)人	1,316 (1,019)人	1,316 (1,292)人	1,350 (1,396)人	1,420 (1,528)人	1,450 (1,962)人	78.0%
留守家庭児童会の 終了時間		18:00	18:30	18:00	18:00	18:30	18:30	18:30	18:30	100.0%
放課後子ども教室の実施 学校数		2校	17校	2校	4校	5校	6校	8校	9校	52.9%
一体型の留守家庭児童会・放課後子ども教室の 実施学校数		0校	2校	0校	1校	2校	2校	1校	2校	100.0%
地域による支援 体制が整ってい る学校区の数 (地域学校協働 本部の設置対象 学校区数)	小学校	10校区	17校区	12校区	14校区	15校区	17校区	17校区	17校区	100.0%
	中学校	3校区	10校区	3校区	3校区	5校区	6校区	10校区	10校区	100.0%
将来の夢や目標 を持っている児 童・生徒の割合	小学校 5年生	92.8%	94%	93.9%	92.0%	89.2%	93.4%	92.0%	91.2%	97.0%
	中学校 2年生	75.3%	81%	75.5%	75.9%	77.9%	73.0%	76.9%	74.1%	91.4%
図書館の絵本蔵書冊数		61,949冊	66,000冊	62,908冊	63,157冊	64,142冊	64,522冊	65,473冊	65,500冊	99.2%



廿日市子育て支援センター

③ 「基本目標3 地域力で子育てを支える」の進捗・評価

相談しやすい環境の整備では、児童相談所への直通ダイヤル189番（虐待かもと思ったら、いち・はや・く）通報や、地域住民からの通告などの早期発見により要保護児童のケース検討会議件数が、予想を上回る2倍の件数となっており、要保護児童の支援はもちろん、様々な課題を抱える子育て家庭への早期支援の体制が必要となっています。

地域住民の子育てへの参画では、概ね達成できる見込みとなっています。今後は、子どもの放課後の過ごし方や、地域の見守りなど、地域住民との協働によるサービス提供に繋げていく仕組みづくりを進めることが重要です。

地域の子どもの安全では、全国的にも重大事故が多発しており、見守りや子どもへの交通安全教育とともに、歩行者の安全確保のためのキッズゾーンなどの環境整備やドライバーへの意識啓発などを合わせて行う必要があります。また多種多様な状況を想定しての、避難訓練を地域と協働で実施するなどして、児童・生徒の防災体制の充実が必要となっています。



交通安全教室

指標	H25 年度	H31 年度 目標値	第1期計画の進捗						
			H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1年度 見込	達成率 見込
(1) 相談しやすい環境を整えて、すべての子どもと子育て家庭をきめ細かく支援する									
要保護児童対策地域協議会におけるケース検討会議件数	62回	62回	65回	107回	122回	146回	112回	127回	—
養育支援訪問事業訪問件数	184件	346件	145件	155件	126件	193件	265件	242件	69.9%
児童発達支援センター設置箇所数	0か所	2か所	0か所	0か所	1か所	2か所	2か所	2か所	100.0%
実費徴収に係る補足給付を行う事業(日用品、文房具、行事等の参加費用等の助成)	0人	18人	0人	2人	4人	2人	1人	3人	16.6%
(2) 地域住民の子育てへの参画を促進する									
子育てサポーター養成講座受講者数(累計)	563人	900人	619人	671人	719人	778人	839人	897人	99.6%
ファミリー・サポート・センターの提供会員数	370人	480人	356人	388人	390人	425人	337人	350人	72.9%
イベント等での子育てコーナー(授乳やおむつ替えスペース)の設置回数	0回	20回	—	25回	23回	26回	26回	26回	130.0%
(3) 地域の子どもの安全を地域で守る									
交通安全教室の実施回数(幼稚園・保育園・小学生)	36回	50回	35回	43回	45回	45回	47回	47回	94.0%
子どもの交通事故発生件数(幼児・小学生・中学生)	40件	0件	24件	21件	25件	21件	29件	—	—
都市公園として確保する緑地	7.51㎡/人	7.94㎡/人	7.66㎡/人	7.72㎡/人	7.68㎡/人	7.70㎡/人	7.71㎡/人	7.71㎡/人	97.1%

④ 前計画の総括

前計画（平成27年度から令和元年度）の主な成果と課題を、次のとおりまとめました。

- ① 女性の就業率の上昇等による保育需要の増大に対応するため、計画期間中14施設を認可【0～2歳児の定員460名増加】したことで、認可保育園等は令和元年度末で、35園まで拡大しました。
- ② 児童が過ごす保育園や小中学校の耐震化対策については、保育園の耐震調査で脆弱性が指摘されていた丸石・廿日市・串戸の3つの公立保育園の建て替えを行いました。同時に、運営を民間事業者に変更することで、将来の市の財政的負担の軽減も図りました。小中学校については、計画期間中に市内全校の耐震化対策が完了し、安全・安心な子育て環境の提供を実現しました。
- ③ 児童の安全・安心な放課後の居場所づくりの一つとして展開している留守家庭児童会は、需要が伸びている、廿日市、地御前、大野東の3つの小学校区で新たに児童会建物を増築等し、計画策定時、1,080名であった定員を370名増やし、1,450名まで拡充しました。さらに、保育所より開所時間が短いことから保護者から要望の高かった終了時間について18時から18時30分まで延長し、小学校へ入学後も継続して安心して子どもを預けられる体制を整備しました。

こうした施策の実施により、日経BP総研の調べ（2017年）による自治体子育てランキングで、県内1位、中四国エリアでも2位に評価されるなど子育て世帯から選ばれるまちへと成長を遂げました。

しかしながら、保育園整備による潜在需要の掘り起こしや、子育て世代の転入増により、平成31年4月に8年ぶりに待機児童が発生しており、0～2歳の受入拡大を中心とした保育所等の整備や新たな保育士の確保により速やかな待機児童の解消が望まれます。また、旧耐震基準のもと建設され、耐震性が低い公立保育園で対策が未実施の園については、民間事業者による大規模修繕又は建て替え等を行い、安全な子育て環境を提供する必要があります。

さらに、留守家庭児童会は量の拡充と合わせて、「放課後の過ごし方」の質の向上及び放課後子ども教室など多様な選択肢が全市域で展開することが期待されます。